



ペプチサル ユーザーの声

急性期からペプチサルを活用して誤嚥性肺炎を予防

札幌麻生脳神経外科病院 リハビリテーション科

言語聴覚士 源間隆雄さん（札幌市）

当院は脳神経外科の専門病院として開院し、4年半ほど前に現在の場所に新築移転してまいりました。脳血管障害の患者さんの回復期リハビリテーションにも力を入れている病院です。

特に摂食嚥下機能障害のある患者さんに対して、食べられるようになっていただくために、口腔ケアを重視しており、ペプチサルを活用しています。超急性期から適切な口腔ケアを多職種で展開していくことにより、誤嚥性肺炎の予防はもとより、口腔内環境の維持改善につながり、口腔機能の廃用を防ぐことにもつながります。潤いのある口腔内環境を維持することによって、義歯の装用も容易になり、早い段階から摂食嚥下訓練を開始することができます。

言語療法の中にも摂食嚥下障害のみならず、構音障害の改善にも口腔ケアが一助となります。



源間 隆雄 さん

北海道札幌市出身
札幌医療福祉専門学校卒
札幌麻生脳神経外科病院勤務
日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士
(摂食嚥下障害領域)

急性期から多職種で口腔ケアを実施し「食べられる口づくり」の実現を目標に医科歯科連携・多職種連携を目指して活動しております。
一人でも多くの方に口腔ケアに携わってもらえるよう勉強会などを積極的に実施しています。

「舌苔除去」について

摂食嚥下障害を抱えている患者さん、利用者さんの多くに、舌苔でお困りの方がいらつしやいます。舌ブラシも使い方を間違ってしまうと、舌にある味蕾を傷つけてしまうこともあります。痛みが出現してしまうことがあります。

痛みがなく安全に舌苔を除去するために、当院でもペプチサルジェントルトウスペーストを使用して清掃するようにしています。トゥースペーストを舌の上に薄く塗布し、5分程置いておきます。その間に、口腔内の頬の内面や歯面の清掃を実施し、その後、再度スポンジブラシや口腔ケアブラシを使用して、軽く舌の上を清掃していきます。すると、舌の表面を擦り取ることなく、綺麗に除去することが可能です。

誤嚥性肺炎予防はもちろんのこと、口臭予防にも、舌苔除去は非常に効果的です。

いつまでも美味しく安全に食べられる口を維持するためにも、器質的口腔ケアと機能的口腔ケアを、多職種で実践し、潤いのあるお口になることが、口腔環境の維持改善に繋がります。

そのためにも、効果的な口腔ケアグッズの活用と正しい使い方の啓発が必要だと、日々の臨床でも意識しています。

(源間隆雄さん談)

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。本年も宜しくお願い致します。